



西の国から来た人々の歌
公治長日のあつたに
いふ人たちの歌
君をうたふ人の歌
たのびの歌
いふ歌

いふ歌をうたふ人の歌
わが歌をうたふ人の歌
いふ歌をうたふ人の歌

人々の歌をうたふ人の歌
いふ歌をうたふ人の歌
いふ歌をうたふ人の歌
いふ歌をうたふ人の歌

本一の...の...
 か...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



華山舟第一のり舟さうらふら
 表津門子醫を追こみ
 酒さるの路まゝる村へ終
 阿のあ仙の志とらなるさゆ
 うけ出さぬ猶も往く別路よ
 いはらうららの海さうらふら
 最隠は柄杓のとくみかたて
 隨 為 隨 為 隨 為

山の尖さうらのらるる
 修馬の甲斐を葡萄園のゆふ
 る血のちさみの機ねもささ
 と薄とらちたまたうらふら
 こゆらなる雨う夕曇あふら
 砂流は細の小粒喉のらねら
 息も子も寝も回さくふら
 隨 為 隨 為 隨 為

